

FIRST 291

～北陸新幹線開業プラン～

- 「FIRST」は“Fukui Inspiring Real Shinkansen Tour”（福井行き、感銘を受ける本物の新幹線旅行）の頭文字を取ったものです。
- 「福井にとって『初の』新幹線開業であり、『第一級・一流』の本物がある福井を『第一に』選んで欲しい」との思いを込めています。

令和2年3月策定

令和3年3月一部追加（案）

福井県



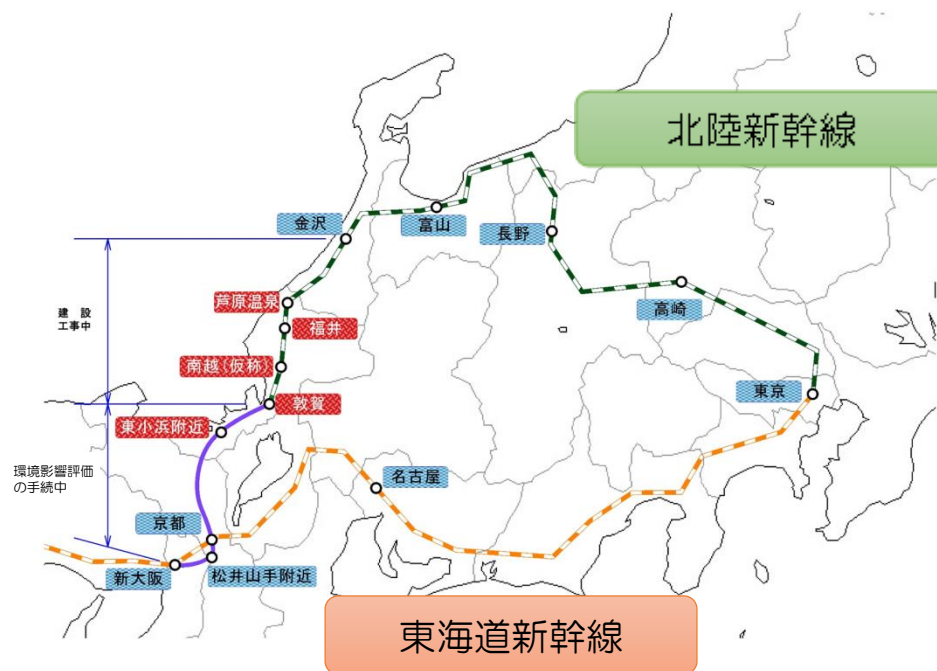
目次

I	策定の趣旨	1
II	主な施策（A ふくいブームの創出）	6
	A-1 ふくいファンの拡大	7
	A-2 ムーブメントの創出	11
	A-3 観光誘客の拡大	12
III	主な施策（B 受入環境のレベルアップ）	17
	B-1 唯一無二のとがった魅力づくり	18
	B-2 県民協働によるサービス提供	24
	B-3 開業効果の全県波及	26
IV	施策一覧	31
V	資料	45

I 策定の趣旨

(1) 策定の背景

- ▶ 平成27年3月の北陸新幹線金沢開業に際し、県では、平成24年3月に「福井県新高速交通ネットワーク活用・対策プラン」を策定し、開業の利点を活かすとともに、課題に速やかに対処する方策を講じてきたところです。
- ▶ 北陸新幹線は令和5年春（令和6年春に1年延期）に福井・敦賀まで延伸する予定であり、交流人口の拡大など、本県にとって100年に一度のチャンスが到来します。このチャンスを最大限に活かすため、県では、平成28年3月に「高速交通開通アクション・プログラム」を策定し、これまでハード整備を中心に準備を進めてきました。
- ▶ 例えば、えちぜん鉄道の高架化や福井市中央公園の再整備、越前古窯博物館・年縞博物館の整備等が既に完了しており、一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）の整備やレインボーライン山頂公園の再整備、4棟復元による人道の港敦賀ムゼウムの再整備等が行われています。また、恐竜博物館の機能強化、東尋坊の活性化等についても検討が進んでいます。
- ▶ 福井・敦賀開業を約3年後に控え、今後は、こうしたハード整備だけでなく、首都圏等からの誘客に向けたPRや県内での受入準備といったソフト対策を強化し、開業対策を加速させていく段階に来ています。



(2) 金沢開業後の状況

観光入込客数

- 平成27年春の金沢開業後、本県の観光入込客数は着実に増加し、平成30年における県外からの観光入込客数は812万人、うち関東地区からは76万人となっているものの、石川県との差は大きい状況です。
- 平成30年における本県観光地の入込客数をみると、東尋坊や恐竜博物館・かつやま恐竜の森、大野まちなか、一乗谷朝倉氏遺跡、氣比神宮、大本山永平寺等に多くの観光客が訪れており、福井らしさ「文化力」である歴史や自然風土等に高い興味・関心が持たれ、多くの観光客が訪れていることが分かります。
- また、平成26年と平成30年の観光入込客数の比較において、嶺北地域の観光客数が約29%増加している一方、嶺南地域は約11%の増加と伸びが小さい状況です。

≪県外観光入込客数≫

	県外観光入込客数	(うち関東地区)
福井県(H30)	812万人	(76万人)
石川県(H30)	1549万人	(418万人)
富山県(H30)	784万人	—

出典：福井県、石川県、観光庁

≪平成30年福井県観光客入込客数(推計)≫

東尋坊	135万人
恐竜博物館・かつやま恐竜の森	113万人
武生中央公園	107万人
西山公園	95万人
あわら温泉	89万人
大野まちなか観光	88万人
一乗谷朝倉氏遺跡	72万人
氣比神宮	72万人
大本山永平寺	49万人

出典：福井県

魅力度・認知度等

- 民間調査によると、本県に関する情報のメディア等での接触度が他県に比べて相対的に低いため、本県の魅力度や認知度が全国下位となっており、本県への観光意欲度の向上につながっていない状況です。

《地域ブランド調査2019》

情報接触度	42位
魅力度	37位
認知度	42位
観光意欲度	37位

出典：(株)ブランド総合研究所

観光コンテンツ等

- 民間調査によると、本県は、子どもが楽しめるスポットや施設については高い評価となっています。食については北陸三県の中では低い評価となっているものの、全国平均より高くなっています。
- その一方で、土産や宿泊、若者や大人が楽しめるスポットに関する評価は全国平均より低く、リピーターも少ない状況です。
- また、新幹線が開業すると新幹線駅から各地への誘客が必要となりますが、アクセスや現地での観光情報についても低い評価となっています。

《じゃらん宿泊旅行調査2019》

子供が楽しめるスポットや施設が多かった	12位
地元ならではのおいしい食べ物が多かった	17位
地元の人のホスピタリティを感じた	26位
魅力のある特産品や土産物が多かった	29位
魅力的な宿泊施設が多かった	31位
若者が楽しめるスポットや施設が多かった	32位
大人が楽しめるスポットや施設が多かった	34位
現地へのアクセスが良かった	34位
現地で良い観光情報を入手できた	42位

出典：(株)リクルートライフスタイル

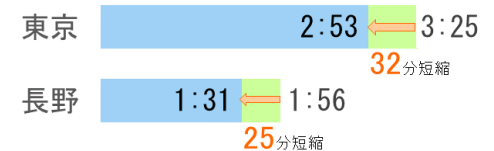
その他

- 既に新幹線が開業している石川県や富山県においては、ホテルや商業施設など民間投資が活発化するとともに、国際会議の開催やクルーズ船の寄港等も増えています。

(3) 策定の目的

- 北陸新幹線福井・敦賀開業により、東京と福井は2時間53分でつながり、首都圏等と時間距離が30分以上短縮するうえ、乗り換えなしでつながる新時代が到来します。
- また、県では、今般、「観光でこころひとつに、活力ある地域の創造」を基本理念とし、「観光で『稼ぐ』」など4つの戦略、6つの項目、15のプロジェクトから構成する「ふくい観光ビジョン」を策定し、「地方創生の切り札」とされる観光に地域一体となって取り組むこととしました。
- こうした状況を踏まえつつ、開業まで約3年となった今、交流人口を拡大し、福井・敦賀開業の効果を最大限に高めるとともに、県内全域へ波及させることを目的として、いわゆるソフト対策に関する開業プランを策定します。

◀福井駅からの新幹線による所要時間（福井・敦賀開業後）▶



※所要時間は、国の調査に基づく県の試算値
 ※開業後の運行ダイヤはJRが決定

(4) 計画期間

- 令和2年度から令和6年度の5年間

(5) 主な対象

- 経済的・時間的にゆとりがあり、旅行意欲が高く、知的好奇心や体験意欲が高い首都圏や北陸新幹線沿線の在住者等

(6) 取組方針

- ▶ 県民一人ひとりが参加し、ふくいブームの創出と受入環境のレベルアップを図り、交流人口を拡大するとともに、SDGs（※）の理念に沿いながら、住む人にとってもメリットのある持続可能な施策を展開します。
※SDGs：「誰ひとり取り残さない」社会の実現を目指し、平成27年に国連で採択された持続可能な世界を実現するための開発目標
- ▶ 恐竜や年縞等中生代から近代に至るまで幅広く厚みのある歴史・文化資源、禅の教えに基づく精進料理や本県発祥と言われるおろしそば等の食・食文化、身近にある里山里海湖等豊かな自然を活かしたアクティビティ体験など、幸福度日本一である福井ならではのコンテンツを活用します。
- ▶ 施策の展開に当たっては、観光地域づくり法人（DMO）を中心に観光を担うプレイヤーを発掘し地域一体となって推進するとともに、ふくい観光ビジョンと理念や目標を共有しながら、ターゲット（例：ファミリー層や女子旅等）を明確にして実施します。
- ▶ なお、ふくい観光ビジョンに「新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会変革等を踏まえた今後重点的に取り組むべき考え方」が追加されたことを踏まえ、この考え方を県民・観光事業者等と共有し、地域一丸となって推進します。

A ふくいブームの創出

- ・首都圏での露出を格段に増やし、福井に関する情報への接触機会を飛躍的に高めることにより、福井の認知度を向上させ、観光意欲につなげていくこととし、マイブームや一過性に終わらないムーブメント、更には文化へ高めていきます。
- ・また、「ふくいブランド」の魅力を前面に打ち出しながら、SNSの活用による口コミ拡散やターゲットに合わせた情報発信、様々なメディア・イベントの連携など、これまでの行政PRにとらわれない力強い戦略的なプロモーションを展開します。

B 受入環境のレベルアップ

- ・「県民参加」と「市町協働」により、基本的なサービス提供を前提により高いサービス提供を行うことによって、多くの方が何度も旅行し消費をしてくれる仕掛けを作ります。
- ・また、賑わいを生み出すイベントやストーリーのある観光コンテンツなど唯一無二のとがった魅力づくり、県内各地への周遊を促す仕組みの造成等を軸とした受入準備を展開します。

II 主な施策（A ふくいブームの創出）

○現状では、メディア等からの情報接触度が他県に比べて低いため、魅力度や認知度が全国下位となっており、観光意欲度も低い。
 ○このため、まず、県・市町、県民等一体となったオールふくいにより、福井県に関する情報接触機会を飛躍的に高め、ふくいファンを拡大する。その上でメディアの情報発信力等を最大限活用しながらムーブメントを創出し、開業後の誘客拡大につなげる。
 ○なお、プロモーションの展開に当たっては、ふくいブランドの魅力を前面に出し、「行ってみたいなと思ったところが実は福井」という見せ方を行う。

主な施策	取組内容	R2	R3 (開業前々年度)	R4 (開業前年度)	R5 (開業年度)	R6 ★令和6年春開業
		A-1 ふくいファンの 拡大	(1) インパクトのあるイメージ発信	キャッチコピー・ロゴの制作		キャッチコピー・ロゴを活用したPR
	(2) 首都圏の情報感度の高い人への イメージ発信	楽しいプロモーション				
		SNS等の活用				
	(3) つながりを活かしたイメージ発信	注目度の高いエリアでのイベント				
		福井とのつながりの活用				
A-2 ムーブメントの 創出	(4) メディアの発信力の最大活用				メディアプロモーション	
					メディアでの集中発信	
A-3 観光誘客の拡大	(5) 旅行者向け情報発信の強化	好奇心を刺激する情報発信				
		必要な情報を必要な時にデジタル技術による情報提供				
	(6) 都府県やJR等との協働による 情報発信の強化	北陸各県やJRとの協働			商談	
		旅行会社等への働きかけ			大型観光 キャンペーン	
	(7) インバウンド目線での情報発信	国・地域別プロモーション、他県との協働				
	(8) 細やかな情報発信	関西圏・中京圏での情報発信				
		嶺南地域の情報発信強化				

(1) インパクトのあるイメージ発信

- キャッチコピー・ロゴを新たに作成し、県や市町、民間が統一的にアピールします。
- これまでにない楽しいプロモーションを展開し、徹底的にふくいのイメージ・魅力を発信します。

① キャッチコピー、ロゴによるアピール

- ふくいのイメージを連想させ新幹線開業をアピールするキャッチコピー、ロゴを新たに作成します。このキャッチコピー等は、県や市町の広報・PRやイベントだけでなく、民間の土産品や宣伝等にも使用し、統一的にアピールします。

② 楽しいプロモーションによる徹底発信

- 「ふくいブランド」（例：日本一の〇〇、世界的に珍しい〇〇等）を活用し、様々なコミュニケーションツール（メディア、イベント等）をミックスさせた連続的なプロモーションを展開します。
 - ・首都圏において、恐竜や文化・歴史等ふくいの「本物」の魅力に触れる体験イベントを核に、マスメディアやWEB、SNS等で情報を拡散するプロモーションを展開します。（県、R2～5）
 - ・ターゲットの興味をかき立てる切り口で、テレビ番組や雑誌等とのタイアップ、ユニーク動画の配信等を展開します。（県・市町・民間、R2～5）
- 影響力のある映画やドラマ、小説等とのコンテンツコラボを進め、その世界観を活かしたプロモーションを展開します。
 - ・福井を舞台とした青春スポーツ小説「2.43」や人気の映画・テレビ番組等とタイアップしてふくいのイメージ・魅力を発信します。（県・市町、R2～6）



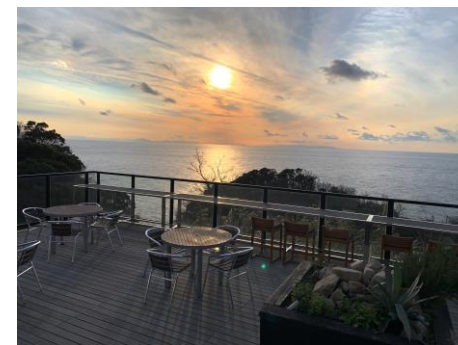
小説「2.43 清陰高校男子バレー部」
©壁井ユカコ/山川あいじ/集英社

- 県民やインフルエンサー等と協働してSNS等による発信を徹底的に増やし、口コミによる情報拡散を拡大します。
- 首都圏等において、ふくいの魅力を発信するイベント等を開催し、多くの人に直接アピールします。

① SNS等を活用した情報拡散

- インスタグラム等を活用し、県・市町、県民等が協働して写真や動画でふくいの魅力を徹底発信します。

- ・ フォトコンテストや撮影会を開催し、県民自らがおすすめスポットや隠れグルメ等をSNSで発信する県民運動を展開します。(県・市町・民間、R2～5)
- ・ 女性ならではの視点で、インスタグラムでの発信や冊子発行を行います。(民間、R2～6)



インスタグラマー写真

- 若者に影響力のあるインフルエンサーや著名人、外国人旅行者等による発信力を活かし、口コミによる情報拡散を促進します。

- ・ 人気のインスタグラマーが“映える”地域資源を見つけ出し、魅力的に発信します。また、その内容を女性向け旅行サイトの特設ページにおいて継続的に発信します。(県、R2～5)
- ・ インスタグラマーやブロガー、ユーチューバー等を対象としたモニターツアー等を実施し、そのネットワークを通じて口コミ情報の拡散を図ります。(市町、R2～6)

- 人気旅行ガイドの福井版を出版します。

- ・ 若い女性に人気のある旅行ガイド「ことりっぷ」の地域版等を制作、出版します。(県・市町、R2～3)

② 注目度の高いエリアでのイベント等

- 主要駅や空港、商業施設等多くの人が集まる場所で、ふくいの「良い物」「本物」が話題となるイベントを開催します。
 - ・ 伝統工芸や恐竜とアーティスト等がコラボするなど、SNSやメディア等において話題になるイベントを開催します。
(県・民間、R2～5)
- 憧れのコンテンツとなり得るふくいの「良い物」「本物」を前面に出したイベントを開催します。
 - ・ 「世界恐竜展in東京」(仮称)に出展し、恐竜博物館や北陸新幹線福井・敦賀開業をPRします。(県、R3)
 - ・ 「ふくい」を前面に出さず、「本物」のふくいブランドの魅力が際立つ表現でアピールするイベントを開催します。(県・市町・民間、R2～5)
 - ・ ホテルや飲食店等において、本県の食によるフェアやワークショップ等を開催します。(県・市町・民間、R2～5))



首都圏主要駅でのPRイベント

(3) つながりを活かしたイメージ発信

○ 歴史上有名な人物のエピソードや本県とのゆかりなど、つながりを最大限活かしてアピールします。

① 福井とのつながりを活かした発信

● 歴史上の人物と県内各地のつながりを活かしたプロモーションを展開します。

- ・ NHK大河ドラマの主人公として注目を集める明智光秀の本県での秘話を活用し、メディアタイアップ等を展開します。(県・市町、R2)
- ・ 柴田勝家・お市や松平春嶽、橋本左内、杉原千畝、杉田玄白など本県にゆかりのある多くの人物のエピソードを全国に発信します。(県・市町、R2～6)



明智神社

● 福井とゆかりのある地などで、ふくいの食や祭りなどが体験できるイベントを開催します。

- ・ 江戸時代に屋敷があった地域や現在アンテナショップがある地域等ゆかりの地において、ふくいの「本物」に触れるイベントを拡充、開催します。(県・市町・民間、R2～6)



神楽坂でのPRイベント

(4) メディアの発信力の最大活用

- 発信力の強いメディアへの情報提供や取材活動への積極的な協力等により、番組化や記事化を図ります。
- 開業前後には、影響力の大きいメディアを数多く活用し、ふくいイメージ・魅力を集中発信します。
- 福井を舞台等とした映画やドラマを誘致するとともに、ロケ地等の聖地化を目指します。

① メディアプロモーションの強化

- きめ細かなパブリシティ活動を行うとともに、取材活動に積極的に協力します。
 - ・ ふくいの隠れた魅力や先進的取組みなどをメディア目線で発掘し、情報提供するとともに、メディアを福井に招致し、「本物」を直接取材する機会を提供します。特に開業前後には数多くの番組・記事で取り上げられるよう強化します。(県・市町、R2～6)
- ふくいの「本物の良さ」を幅広くメディアに知ってもらう講座や現地研修会等を開催します。
 - ・ 首都圏等においてプレスカンファレンスを実施するとともに、福井へのプレスツアー等を行います。(民間、R2～4)

② 開業前後におけるメディアでの集中発信

- 広告を活用し、ふくいのイメージ・魅力を発信するとともに、多くのタイアップ番組・記事の実現を目指します。
- 動画サイトやウェブなどのデジタルメディアについても最大活用します。

③ 福井が舞台やゆかりの映画・ドラマ等の実現

- 福井が舞台となる映画やドラマなどを誘致します。
 - ・ 話題性のあるエピソードの映画化やNHK大河ドラマ・朝ドラ等の実現に向けて誘致活動を強化します。(県・市町・民間、R2～6)
 - ・ フィルムコミッションを設立し、映画やテレビ番組等を誘致します。(県、R3～6)
- 映画やドラマ、アニメのロケ地等をPRし、聖地化を目指します。
 - ・ 漫画・アニメ「ちはやふる」等とタイアップし、舞台となった地の聖地化を目指します。(県・市町、R2～6)



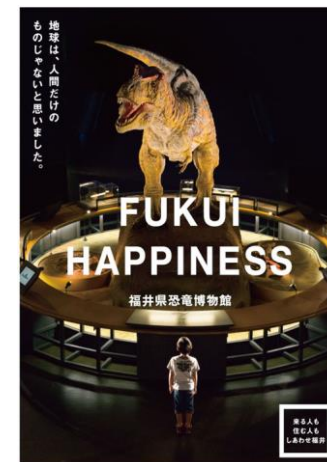
「ちはやふる」ゆかりの地

(5) 旅行者向け情報発信の強化

- 人気の旅行ガイドブック等を活用するとともに、ホームページの充実やプロモーションツール等のリニューアルを行い、好奇心を刺激する情報を数多く発信します。
- 観光情報のデジタル化により、観光客が必要な時に必要な情報を提供します。

① 好奇心を刺激する観光情報の発信

- ◎ 旅行好きに人気のガイドブックや旅行情報サイト等を活用し、旅行先に福井を選びたいという情報発信を行います。
 - ・ 「るるぶ福井県立恐竜博物館」や「ミシュランガイド」を活用し、福井の魅力を発信します。(県、R2～6)
- ◎ 「ふくいドットコム」など観光情報を提供するホームページにおいて、旅行に役立つ情報の充実を図ります。
- ◎ 開業に向けて、観光ポスターやパンフレット、プロモーション動画などをリニューアルします。
 - ・ ふくいのイメージや観光資源等を魅力的に発信する観光ポスターやパンフレット、プロモーション動画等を制作します。(県・市町、R2～6)



県観光ポスター

② 必要な情報を必要な時にデジタル技術により提供

- ◎ 観光地や宿泊施設についての観光関連サイトへの投稿等を促進します。
- ◎ 観光地や宿泊・飲食施設、アクセス等のウェブサイト上での情報提供の充実を図ります。
- ◎ 飲食・宿泊・交通等観光情報のデジタルによるアーカイブ化や情報発信、デジタル技術を活用して楽しみながら周遊できる仕掛けづくりなどを進めます。

(6) 都府県やJR等との協働による情報発信の強化

- 北陸各県やJRと協働した大型観光キャンペーンや沿線都府県での情報発信等を数多く実施し、相乗効果を発揮します。
- 旅行会社等への働きかけを強化し、旅行商品の造成を働きかけます。

① 北陸各県やJRとの協働による発信

- 開業前後に、石川県・富山県やJR各社と協働したキャンペーンを実現します。

- ・ 全国的な大型観光キャンペーンの実現を目指します。(県・市町・民間、R 5～6)

- 四季折々の魅力を活かした広域観光キャンペーン等を実施します。

- ・ 北陸三県誘客促進連携協議会において、「日本の美は、北陸にあり。」「Japanese Beauty Hokuriku」等のキャンペーンを行います。(県・市町・民間、R 2～6)

- ・ 越前加賀広域観光推進協議会において、首都圏への出向宣伝など広域観光キャンペーンを実施します。(県・市町・民間、R 2～6)

- ・ JR等とともに、デジタルサイネージや車内広告、車内誌、ポスターなど駅構内や車両でのPRやメディア広告を行います。(県・民間、R 2～5)

- 石川県・富山県と協働し、金沢開業により首都圏に浸透してきている「北陸」を前面に出しながら、ふくいのイメージ・魅力を発信するイベントを開催します。

- ・ 石川県・富山県と協働し、開業をアピールするイベントや観光物産展、アンテナショップでの共同PRを実施します。(県・市町・民間、R 2～6)



金沢開業時の全国宣伝販売促進会議

② 沿線都府県での発信

- 沿線自治体や民間と協働し、沿線都府県のスポーツイベント会場等で、ふくいの観光や歴史・文化、食等をPRします。

③ 旅行会社等への働きかけ

- 観光商談会や観光商品説明会等において、旅行会社目線で観光情報を提供し、旅行商品造成を働きかけます。

- 旅行会社や学校関係者等へ積極的に営業を行い、修学旅行や体験学習等の教育旅行を誘致します。

- 国・地域ごとに異なる嗜好等に応じた誘客プロモーションを展開します。
- 北陸新幹線沿線や関西の自治体や観光団体と連携し、共同プロモーションを展開します。
- 今後、国内で開催される国際的イベントを活用した誘客プロモーションを展開します。

① 国・地域別の誘客プロモーションの展開

- ◎ デジタルマーケティングを活用し、国・地域に応じた誘客プロモーションを実施します。
 - ・「ふくいドットコム」のアクセス状況等を分析し、観光情報の発信内容やSNS、旅行会社等の活用方法等を変えながらプロモーションを展開します。（県・市町・民間、R2～6）
 - ・「ふくいドットコム」を外国人目線でリニューアルし、国別にPR内容を変えると同時に、随時、旬な情報を提供します。（県・市町・民間、R2～6）
 - ・従来の台湾、香港、中国に加え、今後訪日の増加が見込まれる東南アジアや「ZEN」に関心が高い欧米豪において、旅行博への出展や旅行会社のファムツアーなどのプロモーションを強化します。（県・市町、民間、R2～6）

② 北陸新幹線沿線や関西の自治体等と協働した誘客

- ◎ 北陸新幹線沿線や国際的イベント開催地の自治体等と協働し、外国人向けプロモーションを展開します。
 - ・福井県インバウンド推進連携協議会において、外国人ブロガーや海外メディアを活用したインバウンド向け情報発信を行います。（県・市町・民間、R2～4）
 - ・北陸新幹線沿線自治体と協働し、海外の旅行雑誌や旅行サイト等への広告掲載等の共同プロモーションを実施します。（県・市町・民間、R2～6）
 - ・関西の観光団体等と協働し、関西・京都にはない福井ならではの観光地等と組み合わせた広域観光ルートを設定します。（県・市町・民間、R2～6）

③ 国際的イベントを活用したPR

- ◎ 国際的イベント（東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスタースゲームズ関西等）を活用し、ふくいを国内外に発信します。
 - ・東京オリンピック・パラリンピック等の国際的イベントの開催に併せて、PRイベントへの参加やHPでの共同発信などを行い、ふくいの観光地や食などをPRします。（県・市町・民間、R2～6）

- 様々なツールや機会を活かし、徹底的に情報発信を行います。
- 関西圏や中京圏に向けての情報発信も強化します。また、嶺南地域の観光情報の発信を強化し、誘客拡大を図ります。

① 様々なツール・機会を活用した発信

- オウンドメディアや県外事務所、アンテナショップなどを活用してメディア等への働きかけを行います。
 - ・ 東京にあるアンテナショップにおいて、ふくいの食や観光・移住等の情報発信機能を強化します。(県、R2～6)
 - ・ 首都圏にある市町の県外事務所やアンテナショップ、ゆかりの店等を核として、情報発信を行います。(市町、R2～6)
- 本県出身者や在住経験者、ゆかりの企業などの協力を得てPRします。
 - ・ 本県ゆかりの企業内での物産展開催や本県出身大学生とのタイアップによるSNS発信等を行います。(県・民間、R2～6)
 - ・ 県内学生等とのタイアップによるプロモーションCM等の制作や本県出身者等と協働したPRイベントの開催等により、ふくいの魅力を発信します。(市町、R2～4)
- 姉妹都市・連携都市、民間と協働し、様々なツール・機会を活用したPRを行います。
 - ・ 首都圏の自治体や企業等との連携を拡大し、コラボによるPRを強化します。(県・市町・民間、R2～6)
 - ・ 東京や大阪、名古屋への高速バス車両にふくいのイメージをラッピングし、各エリアへPRします。(民間、R2～6)



ふくい南青山291



企業内での物産展

② 関西圏・中京圏での発信

- 滋賀や京都など隣県と協働し、広域観光キャンペーンなどを実施します。
 - ・ 福井・滋賀・京都三府県連携観光促進協議会において、周遊マップの作成や広域観光キャンペーン等を実施します。
(県・市町・民間、R 2～6)
- 関西・中京圏においてPRイベントを開催するとともに、県外事務所からメディアや旅行会社等へきめ細かな働きかけを行います。

③ 嶺南地域の観光情報発信の強化

- 関西・中京圏に近い地域特性を活かし、嶺南地域独自にメディア等を活用した情報発信を行います。
 - ・ 旅や鉄道に関する雑誌への記事掲載等により、小浜線や若狭湾等の魅力を発信します。
(民間、R 2～6)
 - ・ 嶺南地域の魅力にフォーカスしたインパクトあるプロモーション動画を制作・発信します。(県、R 2～4)
 - ・ 嶺南地域の食や歴史等を検索できるスマートフォンアプリを充実します。
(県、R 2～4)
 - ・ 嶺南地域を舞台にした短編映画の大都市圏での上映を目指します。
(市町・民間、R 2～6)



三方五湖



若狭和田ビーチ

Ⅲ 主な施策（B 受入環境のレベルアップ）

○県内の観光コンテンツを旅行商品として販売するためには、令和5年春までに準備しておく必要があり、**開業延期をチャンスと捉え**、関係者が一丸となって**観光志向の変化に対応した**観光素材の磨き上げや**新たな**観光コンテンツ造成を進めていく。

○また、**1年の準備期間延長を活かし**、県内の開業機運の盛上げや観光関連事業者のサービスレベルの引上げ、更には旅行インフラの充実等についても着実に行うことにより、観光客に満足してもらい、開業効果が全県に波及する受入環境を目指す。

主な施策	取組内容	R2	R3 (開業前々年度)	R4 (開業前年度)	R5 (開業年度)	R6 ★令和6年春開業
B-1 唯一無二のとなった魅力づくり	(1) ワクワク・ドキドキするイベントの開催 (2) 「ダイバース・トラベル」の実現			ウェルカムイベント・開業記念イベント等の開催準備 (2年前)	観光コンテンツ造成・素材磨き上げ ウェルカムイベント・開業記念イベント等の開催準備 (1年前)	●朝倉氏遺跡博物館開館 ●恐竜博物館リニューアル ●ウェルカムイベント開催 開業記念イベント開催 (イベント、連携イベント含む) 旅行商品の販売 大型観光キャンペーン
B-2 県民協働によるサービス提供	(3) 県内の開業機運盛り上げ (4) サービスレベルの向上			機運を盛り上げるためのイベント開催 観光を支える人づくり 県民・団体等によるおもてなし県民運動	観光客が求めるサービスを提供できる体制整備 県全域の観光案内所や各案内所の連携体制の整備	オールふくいによるおもてなし
B-3 開業効果の全県波及	(5) 旅行インフラの充実 (6) インバウンド環境の充実 (7) 新幹線駅の先のエリアへの波及			二次交通の利便性向上、心地良い旅行環境づくり インバウンド客に対応したインフラや受入態勢の充実 周遊滞在型コンテンツの充実や広域観光商品の造成 若狭湾の体験コンテンツ等の充実		開業効果の全県波及

(1) ワクワク・ドキドキするイベントの開催

B-1 唯一無二のとなった魅力づくり

- 地域資源を活かしながらインパクトのあるイベント等を開業前後に開催し、開業効果を最大限に高めます。
- ビジネストリップとしてのMICEを誘致・開催し、交流人口を拡大します。開催に当たっては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、現地開催とWeb開催・配信を組み合わせたハイブリッド形式での開催や来場者の感染予防対策の徹底などにより、安全・安心が確保できる環境を整えます。

① 地域資源を活かした新幹線開業記念イベントの開催

- ◎ 全県的に観光客をお迎えする開業時の「ウェルカムイベント」や開業前のプレイベント等を開催し、賑わいを生み出します。
 - ・ 先行して完成する新幹線施設を活用した大規模レールウォークやメディアとも連携した県民参加型のイベント等を開業の節目を捉え開催します。また、新幹線ソング・ダンスを制作し、全県で開業機運を盛り上げます。(県、R3～5)
 - ・ 開業時には、新幹線駅4駅を中心に統一テーマによる「ウェルカムイベント」を開催します。また、開業機運を高めるプレイベントを含め、県内全域で連携イベントを開催します。(県・市町、R4～6)
 - ・ 住民や各種団体等とタイアップし、観光地や食を紹介するイベント等を開催します。(市町・民間、R4～6)
- ◎ 開業前後にふくいが誇る地域資源を前面に出した大型イベントを開催します。
 - ・ 一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)の開館を記念する特別展を開催します。(県、R4～5)
 - ・ 恐竜博物館のフルモデルチェンジを記念する特別展を開催します。(県、R5)
- ◎ 開業前後に開催される多くのイベントを「北陸新幹線開業記念イベント」に位置づけ、実施します。
- ◎ ファンや若者が全国・世界から集う特別感のあるイベントを開催します。
 - ・ 博物館等が連携し、県内の歴史遺産をテーマにした特別展を開催します。(県・市町、R4～5)
 - ・ 日本初公開の世界の名品を集めた大規模美術展を開催します。(県、R5)
 - ・ 全国でも珍しいまちなか音楽フェス「ワンパークフェス」については、福井中央公園から県庁広場まで拡大し、開催します。(県・市町・民間、R2～6)
 - ・ 世界中の競技かるた選手が集まる競技かるた世界大会を開催します。(市町、R2)
 - ・ ポップカルチャーファンが集う同人誌即売会「こみっくまつり」を開催します。(県・民間、R2～5)
 - ・ 福井駅西口や中央公園等とあわせて県庁広場などを活用し、県外から人を呼び込むイベントを開催します。(県・市町・民間、R2～6)



ワンパークフェス

◎ 参加型スポーツイベントや全国・世界から選手・応援団が集まる全国大会・世界大会を誘致・開催し、スポーツツーリズムを拡大します。

- ・「ワールドマスターズゲームズ2021関西」において、県内でライフセービング競技およびディスクゴルフ競技を開催します。（県・市町・民間、R4）
- ・「全国高等学校総合体育大会（インターハイ）」を開催します。（県・市町、R3）
- ・「日本スポーツマスターズ」を開催します。（県・市町、R5）
- ・全国から多くの人を呼び込むフルマラソン大会の開催を検討します。（県・市町・民間、R2～6）
- ・県・市町やスポーツ団体、経済団体等が一体となった地域スポーツコミッションを設立し、有名選手が参加する「アスリートナイトゲームズ」など、多くのスポーツイベントや大会を誘致・開催します。（県・市町・民間、R2～6）



アスリートナイトゲームズ（2019.8）

◎ エキサイティングなプロスポーツの試合を数多く誘致・開催します。

- ・全国から多くのファンを呼び込む「日本女子オープンゴルフ選手権」を開催します。（県・市町・民間、R5）
- ・Vリーグ（バレーボール）や日本女子フットサルリーグなどの試合を誘致します。（県・市町・民間、R2～6）

② 大規模なコンベンションや学会等MICEの誘致・開催

◎ 県観光連盟にコンベンション誘致部門を新設し、全国規模の会議や大会を誘致・開催します。

- ・全国の経済界や産業・教育関係者等が集まる全国規模の会議・大会等を誘致・開催します。（県・民間、R2～6）
- ・通常の会議場ではなく、寺社仏閣や博物館、美術館などを利用して会議やレセプションを開催する「ユニークベニュー」を企画・立案し、積極的にPRします。（県・市町・民間、R2～6）

(2) 「ダイバース・トラベル」の実現

B-1 唯一無二のとがった魅力づくり

- 「知的好奇心」や「体験意欲」を刺激する体験コンテンツや福井ならではの食・食文化を楽しむコンテンツを充実するなど、「ダイバース・トラベル (Diverse Travels : 多様な観光コンテンツ)」を実現します。
- 富裕層向け高級ホテルやファミリーがワクワク・ドキドキする客室など、満足度の高い多様な宿泊形態を提供します。
- 観光拠点および周辺機能を充実し、地域の特性を活かしたリゾートエリアを形成します。また、新幹線駅や在来線駅を拠点とした賑わいを創出します。
- 観光地のオープンゲートとなる交通手段についても、移動を楽しむコンテンツとします。

① 魅力的な観光コンテンツの造成

- ◎ 歴史体験や恐竜研究体験、自然アクティビティ体験、伝統食づくり、ものづくり、観光農園など、「知的好奇心」や「体験意欲」を刺激する数多くの体験コンテンツを造成します。
 - ・ 一乗谷朝倉氏遺跡において、戦国時代を体感できる体験メニューを拡充して提供します。(県、R 4～6)
 - ・ 恐竜博物館において、化石発掘に加え、レプリカづくりやクリーニング等の恐竜研究体験を提供します。(県、R 5～6)
 - ・ 地元の伝統食や工芸、自然、歴史等を活かした体験コンテンツを数多く造成し、パンフレット等により分かりやすく情報提供します。(民間、R 2～6)
 - ・ イルミネーションエリアの創出やナイトコンテンツを造成し、夜間観光を促進します。(県・市町・民間、R 2～5)
 - ・ 六呂師高原において、日本一きれいな星空を楽しむ星空ハンモックや星降るランタンナイトなどを実施します。(市町・民間、R 2～6)
 - ・ 漁業体験で釣り上げた魚を現地で調理、味わう体験プログラム等を拡充、実施します。(市町・民間、R 2～6)
- ◎ 観光ニーズに沿ったストーリー性のある観光ルートの構築
 - ・ 大本山永平寺、一乗谷朝倉氏遺跡、白山平泉寺など中世歴史文化遺産を巡るルート等周遊・滞在につながるコンテンツを造成します。(県・市町、R 2～4)



恐竜レプリカづくり

② 福井ならではの食・食文化を楽しむコンテンツの充実

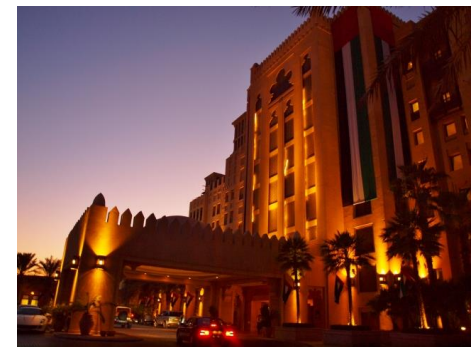
- 福井ならではの食・食文化をストーリーと合わせ観光コンテンツ化するとともに、ふくいのお食ブランドを提供する「フードツーリズム」を強化します。
 - ・食を彩る伝統工芸の産地等と協働し、本県の食・食文化の奥深さを知る体験メニューや地元の食材を味わうメニューに加え、観光地をイメージさせるスイーツやコラボ商品等を開発します。（県・市町・民間、R2～6）
 - ・地域独自の食・食文化を「ふくいの恵み」「勝ち山グルメ」「SHOJIN」などとしてPRします。（市町・民間、R2～4）
 - ・ふくいの伝統的な惣菜各種を「お幸ざい」として宿泊施設で提供し、全県への拡大を目指します。（民間、R2～6）
 - ・いちほまれや若狭牛、若狭まはたなど、ふくいの食材の提供店を拡大します。（県、R2～5）
 - ・一流料理人による研修や料理イベント等により、ふくいの食を支える料理人を育成します。（県・市町・民間、R2～5）
 - ・県内料理団体と協働し、飲食店において食の偉人ゆかりのメニューを提供するなど、食の魅力づくりを行います。（県・民間、R2～5）
- 「思わず手に取り、買いたくなる」ものや「ふくいブランド」を活かしたものなど、土産品の開発を行います。
 - ・商品パッケージのデザインを重視した魅力的な土産品を数多く開発します。（県・市町・民間、R2～6）
 - ・菓子店を巡り、自分好みの菓子を詰め合わせるスイーツボックスを開発します。（市町・民間、R2）



越前おろしそば

③ 多様な宿泊形態の充実

- 高級ホテルやオーベルジュを誘致します。
 - ・世界的に知名度のある高級ホテルや地域の旬な食材による料理を提供するオーベルジュを誘致します。（県・市町・民間、R2～6）
- ワクワク・ドキドキする楽しい客室を拡充します。
 - ・県内ホテル等において、恐竜や伝統工芸をテーマにしたルームやロビー等を拡充します。（県・市町・民間、R2～4）
- 漁家民宿や農家民宿などを充実し、自然体験と一体となった魅力ある宿泊を提供します。
- 宿泊施設と飲食店が協働し泊食を分離して提供することで、その地域ならではの食体験を提供します。



高級ホテル（イメージ）

④ 観光拠点や周辺機能の充実によるリゾートエリアの形成、新幹線駅や在来線駅を拠点とした賑わいづくり

◎ 観光拠点や周辺の機能をレベルアップし、賑わいを創出します。

- ・東尋坊周辺において、奇勝と夕日を望む「ラグジュアリーリゾート」の形成を目指し、絶景を楽しむ仕掛けやアクティビティの導入等を図ります。（県・市町・民間、R 2～6）
- ・あわら温泉において、そこでしか飲めない地酒や美味しい料理、芦原の芸妓文化の体験企画等を提供することにより、誘客を促進します。（県・市町・民間、R 2～6）
- ・長尾山周辺において、恐竜博物館を中心とした「ダイナソーバレーリゾート」の形成を目指し、県内・市内の観光地や体験施設をパッケージ化し、回遊を促進します。また、六呂師高原において、民間事業者の参入等も視野に入れながらアクティビティを充実させるなど活性化に取り組みます。（県・市町・民間、R 2～6）
- ・丹南伝統工芸産地において、伝統工芸が集積するエリアの特性を活かした「クラフトツーリズムのメッカ」を目指し、体験型マーケットなど本物の伝統工芸を体験できるメニューの導入等を図ります。（県・市町・民間、R 2～6）
- ・敦賀エリアにおいて、「人道の港敦賀ムゼウム」や「敦賀赤レンガ倉庫」、鉄道遺産などを中心に、欧亜国際連絡列車が走っていた時代を意識した景観の整備を進め、ノスタルジックな雰囲気形成します。（県・市町・民間、R 2～6）
- ・三方五湖周辺において、里海湖の景色を堪能する「サイクリングリゾート」の形成を目指し、道の駅や飲食店等にサイクリング支援設備の導入やサイクリングツアーの提供等を図ります。（県・市町・民間、R 2～6）
- ・若狭湾沿岸において、海や港に親しむリゾート空間の形成を目指し、漁業レストランの整備やマリンアクティビティの充実等を図ります。（県・市町・民間、R 2～6）



東尋坊



恐竜博物館



工房見学イベント「RENEW」

◎ 県立文化施設を活かし、賑わいを創出します。

- ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）の整備に併せ、遺跡周辺の魅力を高めるとともに、白山平泉寺や大本山永平寺等の中世歴史遺産、越前大野城、丸岡城等の歴史・文化資源をつなげることで滞在時間を延ばします。（県・市町・民間、R 2～4）
- ・恐竜博物館のオールシーズン体験可能な施設へのフルモデルチェンジに併せ、映像やライブショーなど体感型の機能を強化するとともに、長尾山総合公園内の回遊を促進します。（県・市町・民間、R 2～6）



一乗谷朝倉氏遺跡

◎ 新幹線駅や在来線駅およびその周辺における店舗や空間等の魅力を高め、まち歩きを促進します。

- ・新幹線駅周辺において、食・自然・歴史等の体感施設、地元の特産品等の販売施設、学びの場を提供する施設、[SNS映えするスポット](#)等を整備し、賑わいを創出します。（県・市町・民間、R 2～5）
- ・店舗改装を促進し、飲食店や物販店等の魅力を高めます。（県・民間、R 2～5）
- ・旅行中のちょっとした空き時間を食や体験等で楽しく過ごす観光商品を造成します。（県、R 2～5）
- ・河川空間を活用したイベント等により、「にぎわい・交流の場」を創出します。（県・市町・民間、R 2～6）

⑤ 移動を楽しむコンテンツ

◎ 観光地のオープンゲートとなる交通手段の娯楽性を充実します。

- ・「恐竜」「戦国」「食」などをテーマとした観光列車や観光バスの導入に向けた検討を進めます。（県・市町・民間、R 2～6）
- ・ランチを組み込み、本県の魅力をじっくり、ゆったりと味わえる観光タクシーを拡充します。（民間、R 2～5）

◎ 車窓等からの風景を楽しめるよう、植樹や植栽などにより景観を整備します。

- ・九頭竜川周辺や若狭の里山里海湖など、観光客が癒される魅力的な景観を整備します。（県・市町、R 2～4）



観光列車（イメージ）

(3) 県内の開業機運盛り上げ

- 県民向けキャラバン活動等を行い、県内の開業機運を盛り上げます。
- 観光に関わる人材を育成するとともに、賑わい創出に向けて県民が行う果敢なチャレンジ等を応援します。
- 開業に向けた県民運動を拡大し、オールふくいによるおもてなしを実現します。

① 機運を盛り上げるためのイベント開催等

- ◎ 県民が集まるイベント等を活用した新幹線開業PRキャラバンや県民向けの出前講座、駅舎見学会等を開催します。
- ◎ 走る新幹線を眺望できる「ビューポイント」を整備します。
 - ・ビューポイントを整備し、新幹線走行シーンを眺望、撮影できる機会を提供します。(県・市町、R2～4)

② 観光を支える人材づくり

- ◎ ふくいの魅力をストーリー性を持って語り、観光客のニーズに合わせた周遊観光ルートの提案ができる観光ガイドやコンシェルジュ等を育成します。
- ◎ まちづくり団体や若者・女性、地域等による賑わいを創出する果敢なチャレンジ等を積極的に応援します。
 - ・観光コンテンツの造成やおもてなしなど、県民が新幹線開業効果を高める自発的なプロジェクトを応援します。(県、R2～6)
 - ・地域の賑わいづくりや社会貢献、夢の実現等、女性や若者グループ、NPOが行う福井を活性化するための新たなチャレンジを応援します。(県、R2～5)



走行する新幹線（イメージ）

③ おもてなし県民運動

- ◎ 県民、企業・団体等による活動を拡大し、オールふくいによるおもてなし県民運動を展開します。
 - ・花づくり活動を行う人材の育成や花の展示イベントの開催等により、新幹線駅や観光地周辺等において「花」によるおもてなしを行います。(県・市町・民間、R2～6)
 - ・来訪者に対して行う福井ならではのおもてなしを県民、企業・団体等が宣言する「おもてなし宣言」運動を行います。(県・民間、R2～5)

(4) サービスレベルの向上

- 基本的なサービス提供を前提に、より高いサービス提供を行うことによって、観光客の満足を高めます。
- 観光案内所の拡充や民間による観光案内等により、観光情報の提供体制を強化します。

① ビジネスとしてのサービスの提供

- 国が推奨するサービス品質の規格認証を活用し、観光事業者のサービス品質を向上、見える化します。
 - ・ 「おもてなし規格認証」の取得拡大に向けた観光事業者向けセミナーを開催します。
(県、R 2～5)
 - ・ 接遇ハンドブックの作成・配布や、オンラインも活用したセミナーを開催するなどし、観光事業者のマナー向上を図ります。(県・市町・民間、R 2～5)



おもてなし規格認証

② 丁寧な観光情報の提供

- 県都の玄関口である福井駅等に、県全域の観光情報を提供する観光案内所を設置します。
 - ・ 福井駅拡張施設等に広域観光案内所を設置します。(県・市町、R 4～6)
- 市町の観光案内所等が連携し、市町域を超えて観光やイベント情報を共有、提供します。
- 民間による観光情報提供態勢を強化します。
 - ・ ホテルや旅館、道の駅、飲食店等が県全域の観光地や体験コンテンツ等の情報を提供する「まちなか観光案内」を充実します。(県・市町・民間、R 3～6)

- 新幹線駅等からの二次交通を充実するとともに、観光型M a a Sの構築を進めます。
- 観光客が快適に過ごせる環境づくりを行います。

① 駅からの二次交通の利便性向上

- 新幹線駅から人気の観光地への直行バスや周遊バスを拡充します。また、路線バスやコミュニティバスの活用、観光タクシーや地域の鉄道ダイヤの充実を図ります。
 - ・ J R 福井駅から恐竜博物館への直行バスを運行します。(県・民間、R 2～6)
 - ・ 地域周遊バスや県内主要観光地を巡る定期観光バスなどを運行します。(県・市町・民間、R 2～6)
- 公共交通のダイヤやルート等をオープンデータ化し、スマートフォン等によりスムーズに検索ができるようにします。また、I CカードやQ Rコード等によるキャッシュレス化を進めます。
- 鉄道やバス、タクシー、レンタカー、レンタサイクル等の交通サービスを一括検索・予約・決済が可能とし、観光施設や宿泊施設など地域と連携したサービスを一体的に提供する仕組みを作り、観光地間のシームレス化を進めます。
 - ・ 観光型M a a S (※) の構築を進めます。(県・市町・民間、R 2～4)
 - ・ 鉄道やバス等複数の交通機関が利用可能な共通フリー切符を開発します。(県・市町・民間、R 2～6)

※MaaS(Mobility as a Service) : 一人ひとりの移動ニーズに応じて、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うことを可能とするサービス

② 心地良い旅行環境づくり

- 観光客が快適に旅行できる環境づくりを進めます。
 - ・ 観光地のバリアフリー化や駐車場の拡充、トイレの改修、観光案内看板や携帯電話充電設備の充実等を進めます。(県・市町・民間、R 2～4)
- 観光・宿泊施設等における感染症予防マニュアルに基づいた対策実施など、安全・安心な旅行環境を継続して整備します。
 - ・ 宿泊施設等における非接触方式ソリューション導入など、デジタルを活用した感染症対策を徹底します。
(県・市町・民間、R 3～6)

- 「クラフトツーリズム」など外国人の嗜好に沿った観光コンテンツを造成します。
- 外国人目線に立ったきめ細かなサービス環境等を充実します。
- 外国人観光客の対応について相談する窓口やコールセンター設置等により受入態勢を充実します。

① 外国人の嗜好に沿った観光コンテンツの造成

- 伝統工芸産地などの観光拠点におけるインバウンド対応を推進します。
 - ・ 伝統工芸が集積するエリアの特性を活かした「クラフトツーリズム」の拠点施設におけるインバウンド対応を進めます。(県・市町・民間、R2～6)
- 「ZEN」ブランドを訴求し、外国人の嗜好に沿った観光コンテンツを造成します。
 - ・ 外国の富裕層向けに、坐禅体験やそば打ち体験、専門家の直接指導による伝統工芸づくりなどスペシャルな観光体験プログラムを数多く開発します。(県・民間、R2～4)
- 港を起点に鉄道を活用した外国人観光客の新たな人の流れをつくります。
 - ・ クルーズ客船の寄港に合わせた海外からの個人旅行者等向けの旅行商品を鉄道会社等と協働して造成し、県内観光地を訪れる外国人観光客を増やします。(県・市町・民間、R2～6)



漆塗り体験

② インバウンド目線によるサービス環境の充実

- 外国人観光客を積極的に誘致する重点エリアを設定し、外国人目線に立ったサービス環境を充実します。
 - ・ 外国人に人気の飲食店経営者による啓発セミナーの開催や受入環境整備に対する補助制度の創設等により、キャッシュレスやWi-Fi、免税店の拡充等を優先的に進めます。(県・市町・民間、R2～6)
 - ・ ピクトグラムの導入等に向けた検討を進めます。(県・市町・民間、R3～6)
- 外国人観光客に対応するインフラの充実を図ります。
 - ・ 駅や車両内等におけるキャッシュレスやWi-Fi、多言語案内放送、デジタルサイネージによる多言語表記、トイレの洋式化を進めます。また、鉄道における多言語ロケーションシステム等を整備します。(県・市町・民間、R2～6)
 - ・ AIやチャットボットなど最新技術を活用して観光地の紹介等を多言語で行い、利便性の向上を図ります。(県・民間、R4～6)
 - ・ タクシーにおける多言語対応の指差しシートを作成・配布するとともに、翻訳機の導入を促進します。(民間、R2～6)

③ 県内事業者の受入態勢の充実

- 外国人観光客に対応するための県内観光事業者の受入態勢を充実します。
 - ・ 観光事業者向けのインバウンド対応研修を開催します。（県・市町、R 2～6）
 - ・ 観光事業者がインバウンド客の対応について相談する窓口やコールセンター等を設置し、事業者の負担軽減を図ります。（県・市町、R 2～6）

- 魅力ある拠点施設や仕掛けなどにより県内における周遊滞在を促し、観光消費を拡大します。
- 関西・中京圏に近い地域特性を活かし、嶺南地域独自に受入準備を進めます。

① 周遊滞在につながるコンテンツの充実

- 観光客の滞在時間を延ばし県内宿泊につながるよう、観光拠点となる施設の魅力を向上するとともに、各市町が連携して周遊を促す仕組みづくりを進めます。
 - ・ 観光拠点施設の魅力向上に加え、周遊チケットの充実など観光客が広域に巡る観光コンテンツを充実します。(県・市町、R 2～4)
 - ・ 歴史や自然等の観光名所を紹介するカードを作成し、コレクションを兼ねた周遊を促進します。(県・市町、R 2～5)
 - ・ 旧北陸線のトンネルを掲載した「トンネルカード」の活用や有名漫画家とのタイアップ等により、鉄道遺産を活かした周遊を促進します。(市町、R 2～6)



旧北陸線トンネル

② 周遊を促す広域観光商品の造成

- 近隣府県と連携し、県境をつなぐ周遊キャンペーンやストーリー性のあるツアーの造成等を行います。
- 日本遺産を巡るツアー造成やガイドブックの作成等により、世界に誇るコンテンツをつなぐ周遊を促します。
- 県外客が多い観光拠点からの周遊を促進します。
 - ・ 恐竜博物館と県内観光地等との周遊券を設定するなど、県内での回遊や宿泊をパッケージ化し促進する取組みを進めます。(県・市町・民間、R 2～6)

③ 関係人口の拡大

- 地域との多様なつながりを作り、関係人口を拡大します。
 - ・ ふるさと納税を活用し、着地型ツアーや体験プログラムなどを数多く造成します。(県、R 2～4)
 - ・ 地元との交流や体験活動を促進するプランを開発するなど、ワーケーションの受入環境を整備します。(県、R 3～6)

④ 嶺南地域への誘客拡大

- 各観光拠点や周辺機能を格段にレベルアップし、賑わいを創出します。
 - ・三方五湖から若狭湾沿岸に渡るサイクリングルートでのナショナルサイクルルート認定を目指し、三方五湖周辺においてサイクリングロードを整備するとともに、サイクリングツアーガイドの養成などを行います。（県・市町、R2～5）
 - ・三方五湖観光の目玉として、再生可能エネルギーを活用した新たな遊覧船を開発・就航します。（市町・民間、R2～6）
 - ・漁業レストランの整備などを活かし、城山エリアでの賑わいを作ります。（県・市町・民間、R2～6）
 - ・自然を楽しみながら宿泊できるグランピング施設の誘致・整備を推進します。（県・市町・民間、R2～6）
- 農村や海辺のアクティビティなど自然や食を活かした体験メニューを充実します。また、ダム等の大規模インフラや年縞等の自然、歴史等を活かした多様で魅力的なツーリズムを造成します。
 - ・豊かな自然を活かしたトレイルなどアクティビティコンテンツを充実します。（市町、R2～4）
 - ・河内川ダムと熊川宿などの周辺観光施設を結ぶツーリズムを造成します。（市町、R2～4）
 - ・特別企画展の開催など年縞博物館の魅力を向上させるとともに、年縞博物館を核とした周遊ツアーを促進します。（県、R2～6）
- 魅力ある美術展やプロ演奏家によるコンサートなどの文化イベントを開催します。
- 関西や中京をターゲットとしたツアー造成を促進します。
- 当面の終着駅であり嶺南の玄関口となる敦賀駅における広域観光案内を充実します。また、観光周遊バスや小浜線の利活用を促進するとともに、レンタサイクル・シェアサイクルを充実するなど交通の利便性を向上します。



三方五湖サイクリングロード（既設区間）

福井県「北陸新幹線開業対策加速化プラン（仮称）」検討会議委員

団体および役職名	委員氏名（敬称略）
福井県副知事	中村 保博 <座長>
福井市副市長	山田 義彦
敦賀市副市長	片山 富士夫
小浜市副市長	猪嶋 宏記
大野市副市長	田中 雄一郎
勝山市副市長	水上 実喜夫
鯖江市副市長	中村 修一
あわら市副市長	城戸橋 政雄
越前市副市長	河瀬 信宏
坂井市副市長	北川 貞二
永平寺町副町長	山口 真
池田町副町長	溝口 淳
南越前町副町長	藤原 十三夫
越前町副町長	野 賢一
美浜町副町長	西村 正樹
高浜町副町長	岡本 恭典
おおい町副町長	清水 鐘治
若狭町副町長	玉井 喜廣

団体および役職名	委員氏名（敬称略）
公益社団法人福井県観光連盟専務理事	北 慶一
一般社団法人若狭湾観光連盟専務局長	岩本 克己
あわら温泉女将の会会長	山口 由紀
若狭路女将の会会長	藤原 秀美
西日本旅客鉄道(株)福井支店長	覺井 浩一
公益社団法人福井県バス協会会長	天谷 幸弘
一般社団法人福井県タクシー協会会長	矢崎 孝明
一般社団法人日本旅行業協会福井地区委員長	桃木 敬一
福井県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	土田 耕一
一般社団法人福井県商工会議所連合会 (福井県商工会議所青年部連合会会長)	有定 耕平
福井県商工会連合会 (福井西商工会女性部)	長谷川 陽子
福井県農業協同組合中央会 (JA福井県女性組織協議会会長)	小川 喜久子
福井県漁業協同組合連合会 (福井県漁協女性部連合協議会会長)	子末 とし子
(株)福井銀行 (経営企画グループブランド戦略チーム)	前田 雅美

<アドバイザー>

分野	氏名（敬称略）
プロモーション	吉川 隼太
受入対策	北嶋 緒里恵
映像	K a z u

<オブザーバー>

団体および役職名	氏名（敬称略）
国土交通省中部運輸局福井運輸支局長	山本 博康

令和元年 8月27日 第1回検討会議

- ・プラン策定にかかる意見交換

令和元年11月25日 第2回検討会議

- ・プラン骨子案にかかる意見交換

令和2年 2月14日 第3回検討会議

- ・プラン最終案にかかる意見交換

令和2年 2月20日 県民パブリックコメントの募集（～3／4）

FIRST291

～北陸新幹線開業プラン～

令和2年3月策定

福井県（交流文化部新幹線開業課）

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

TEL 0776-20-0546

FAX 0776-20-0381

Eメール shinkansen-kaigyo@pref.fukui.lg.jp